

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和2年11月30日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

施設整備の整備状況等を確認し、評価する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、達成できた。
特に、田布施総合支援学校及び下関総合支援学校の廃校・余裕教室等改修事業については、増加傾向にある生徒数に対応するため、廃校校舎の有効活用と長寿命化を図り、ゆとりある教育スペースの確保と教育環境の充実が図られ、効果を上げていると言える。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

下関南総合支援学校の外壁改修を行ったことで、外壁等の剥落・落下防止が図られ、児童生徒の安全・安心の確保を実現した。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった ※いずれかを選択する

【所見】

下関地域の工業高校再編に伴い新築した造船理科棟により、産業教育の充実を図った。
また、田布施総合支援学校、下関総合支援学校の高等部整備のため、廃校となった校舎改修及びエレベーター整備をすることで、増加傾向にある生徒数にかかる教室不足に対応し、ゆとりある教育スペースの確保と職業教育環境の充実を図った。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
下関工科高等学校(Ⅰ期工事)	(5)	21	一般施設	-	R	H30.10～R2.2	R2.2.28		H30からR1へ繰越
下関工科高等学校(Ⅱ期工事)	(5)	21	一般施設	-	R	H30.10～R2.2	R2.2.28		
下関南総合支援学校(高)	(2)	36	防災機能強化	校	-	H30.10～H31.3	H31.2.20		
田布施総合支援学校(高)	(5)	15	特支(廃校・余裕教室等改修)	校	-	R1.6～R2.2	R2.3.31		
田布施総合支援学校(高)(Ⅰ期工事)	(5)	15	特支(廃校・余裕教室等改修)	校	R	H31.3～R2.3	R2.2.26		H30からR1へ繰越
田布施総合支援学校(高)(Ⅱ期工事)	(5)	15	特支(廃校・余裕教室等改修)	校	R	H31.3～R2.3	R2.3.31		
下関総合支援学校(高)	(5)	15	特支(廃校・余裕教室等改修)	校	R	H30.7～H31.2	H31.3.22		
下関総合支援学校(高)	(5)	15	特支(廃校・余裕教室等改修)	校	-	R1.5～R2.2	R2.4.28		R1からR2へ繰越